

科目名	HST310: 東洋研究				担当教員	玉置 真紀子	
開講期	春	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	基層文化、交易、植民地化、開発、児童労働、先住民族、マイクロファイナンス						
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進むなかで生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちにも目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>東南アジアの歴史と社会を理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することで、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東南アジアの基層文化と多様性を理解する。</li> <li>・人々の日常生活と経済活動を説明できる。</li> <li>・開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、課題解決のための提案ができるようになる。</li> <li>・東南アジア社会を考えることは、日本社会を考えることであり、自身の生活に生かせるようになる。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>初回、最終回、2回の中間試験を除いた26回の講義において提出するリアクションペーパーを2%×26回=52%とする。2回の中間試験は、毎回配布するハンドアウト、資料、自筆ノート持ち込み可とし、24%×2回=48%とする。</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>リアクションペーパー：授業内容を理解した上で、質問に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②具体的に記述すること。を求める。これができるのであれば2点とする。感想のみの場合は1点となる。</p> <p>中間試験：問題に対して①テーマを設定し、論理的に説明すること。②課題解決型の問題の場合は、具体的な解決策を提案すること。③自分の経験に引き寄せて検討すること。を求める。感想のみの場合は減点対象とする。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置を確認し、交流関係を調べる
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.23-24 を読む
4	東南アジアの歴史と社会 (1) インド化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会 (2) 交易の時代から植民地化へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会 (3) 脱植民地化から国民国家形成へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	東南アジアの居住空間—都市と農村	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
8	人びとは何を食べてきたか—コメの歴史と棚田のテクノロジー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150 を読む
9	東南アジアの家族観—結婚、家族、親族、子どもの成長、ジェンダー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	現代東南アジアにおける貧困とは－貧困の基準と実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは (1) 子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは (2) 児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
13	児童労働とは (3) 子ども兵士という衝撃	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	児童労働とは (4) 課題解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
15	東南アジアにおける児童労働のまとめと中間試験	講義、質疑応答、試験	14 回までの授業のまとめ
16	先住民族と呼ばれる人々 (1) 大陸部東南アジア	講義、試験返却、講評、 リアクションペーパー	テキスト pp.259-267 を読む
17	先住民族と呼ばれる人々 (2) 島嶼部東南アジア	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.268-275 を読む
18	東南アジアの宗教 (1) 仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
19	東南アジアの宗教 (2) イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
20	マイクロファイナンスを学ぶ (1) マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	マイクロファイナンスを学ぶ (2) マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ (3) 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	移住／移民労働者 (1) 海外出稼ぎという選択	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	移住／移民労働者 (2) 残された家族の生活	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	日本で働く東南アジアの人々 (1) 送り出し国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々 (2) 受け入れ国側の問題	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
27	東南アジアにおける経済と労働問題のまとめと中間試験	講義、質疑応答、試験	26 回までの授業のまとめ
28	東南アジアの表象文化 (1) 文学、美術	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.196-201, pp.241-249 を読む
29	東南アジアの表象文化 (2) 演劇、映画	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.205-213, pp.226-233 を読む
30	東洋を再考する	講義、試験返却、講評	これまでの復習

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための 50 章』（明石書店）
参考書	① 大野拓司・寺田勇文編著『現代フィリピンを知るための 61 章【第 2 版】』（明石書店） ② 清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』（ミネルヴァ書房）
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見ることばかりの内容になると思います。好奇心を持って臨んで下さい。質問は、リアクションペーパーに記入すれば、次回返答致します。

科目名	HST302: 西洋研究					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	火金3限	研究室	4202	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	近現代史、西欧、日本						
授業の概要	近現代史を世界と日本の関係から概観する。18～20世紀に世界で何がおこり、日本が諸外国とどのような関係にあったのか、どのような状況下で日本は支配領域の拡大をはかり、最終的にアメリカとの戦争に踏み切ったのかを日本と諸外国との関係史のなかでとらえていく。西洋研究ではあるが、今回はアジアと欧米の関係に焦点をあてる。世界史の個々の事件を説明すること、または暗記することが目的ではないので注意。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 近現代史について、日本と諸外国との関係を中心に、歴史学研究に基づく視点から何が起きたのかを自分の言葉で語れるようになることが目的である。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 学生は各自テキストを読み込んでわからない部分を調べ、要約を行うことで内容を理解できるようになる。研究倫理を守り、必要な文献を使って講義内容について自分の見解をレポートにまとめ、口頭で発表できるようになることが目標である。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 テキストの下調べと要約 2%×18回=36%、2,000字のレポート 34%、各自7分間のパワーポイントスライド(5～7枚)を用いた口頭発表 30%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 テキストの下調べと要約：下調べ、文章要約、疑問点・意見の付加で2点、テキストの言葉をつないだだけだったり疑問点・意見がないものは1点。レポート：指定書式と締切りを守り、パラグラフ構成ができていれば内容に応じて20点以上、書式・パラグラフ構成の不備は各マイナス5点、研究倫理を守らない(剽窃など)は0点。口頭発表：スライド準備、時間厳守、顔をあげて話す内容に応じて20点以上、スライドの不備、時間内におさまらないなどは各マイナス5点。研究倫理を守らない場合は0点。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	近現代史を考える(1) 18～19世紀の世界	講義、質疑応答	テキスト18～36頁を読む
2	近現代史を考える(2) 18～19世紀の日本	講義、質疑応答	テキスト36～79頁を読む
3	日清戦争(1) 世界の状況	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト82～92頁を読む テキスト要約を作成
4	日清戦争(2) アジアの状況	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト92～127頁を読む テキスト要約を作成
5	日清戦争(3) 戦争の原因	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト127～139頁を読む テキスト要約を作成
6	日露戦争(1) 日露戦争とはどんな戦争であったのか	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト142～155頁を読む テキスト要約を作成
7	日露戦争(2) ロシアと韓国の問題	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト156～174頁を読む テキスト要約を作成
8	日露戦争(3) 日露戦争がもたらしたもの	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト174～186頁を読む テキスト要約を作成
9	第一次世界大戦(1) 大戦の背景	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト188～206頁を読む テキスト要約を作成
10	第一次世界大戦(2) 日本の変化	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト206～215頁を読む テキスト要約を作成

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	第一次世界大戦（3）イギリスとアメリカの事情	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 215～225 頁を読む テキスト要約を作成
12	第一次世界大戦（4）パリ講和会議	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 226～251 頁を読む テキスト要約を作成
13	満州事変と日中戦争（1）「満州事変」をどうとらえていたか	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 254～265 頁を読む テキスト要約を作成
14	満州事変と日中戦争（2）「満州事変」の原因	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 265～281 頁を読む テキスト要約を作成
15	満州事変と日中戦争（3）関東軍の意図とリットン調査団	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 281～301 頁を読む テキスト要約を作成
16	満州事変と日中戦争（4）日中戦争と国際社会での孤立	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 301～329 頁を読む テキスト要約を作成
17	太平洋戦争（1）開戦の背景 レポート作成と口頭発表の注意	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 332～345 頁を読む テキスト要約を作成
18	太平洋戦争（2）戦線拡大 研究倫理についての注意	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 345～365 頁を読む テキスト要約を作成
19	太平洋戦争（3）緒戦の状況 ミクロネシアとの関係	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 366～382 頁を読む テキスト要約を作成
20	太平洋戦争（4）敗戦	講義、質疑応答、要約を相互チェック	テキスト 382～403 頁を読む テキスト要約を作成
21	戦後の日本と世界	講義、質疑応答	レポート作成準備
22	テキストのまとめ	講義、質疑応答、 レポート提出	レポート作成準備 口頭発表準備
23	口頭発表 大戦後の世界（1）アメリカ	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
24	口頭発表 大戦後の世界（2）ヨーロッパ	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
25	口頭発表 大戦後の世界（3）日本	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
26	口頭発表 米ソ冷戦	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
27	口頭発表 冷戦後の世界	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
28	口頭発表 または研究史・参考文献紹介	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
29	口頭発表 またはレポートの講評	口頭発表、質疑応答、講評	口頭発表準備
30	授業の総括	ディスカッション	ノートチェック

テキスト	加藤陽子『それでも日本人は「戦争」を選んだ』（朝日出版）
参考書	木畑洋一『二十世紀の歴史』（岩波書店）
その他 特記事項	受講者が多い場合は、21 回の内容を 30 回の総括でまとめて行う。受講者が少ない場合は、西欧近現代に関する講義を適宜追加する。

科目名	HST300: 比較社会史					担当教員	森下 園
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4202	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー						
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバリゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、現代社会の諸問題をその観点から論述できるようにすることが目標である。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 学生は次回に取り上げるトピックについて事典・参考書で調べたり、あるいは予習教材を視聴することで用語・概念・背景を理解できるようになり、授業課題を書くことで毎回のポイントを把握できるようになる。授業で紹介した事例を参考に、社会の諸問題について、学んだ用語や概念を用いて分析し、自分の見解を論述できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 ①授業課題：2%×26 回=52%、②小テスト：2%×4 回=8%、③論述式の授業内試験：20%×2 回=40%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 ①授業課題：授業内容をふまえて毎回授業の最後にだされる問いへの答えを書式・提出期限を守り自分のことばで 100 字程度にまとめてあるか。研究倫理を守らない（友だちの課題を写したりネット情報などの無断引用など）の場合は 0 点とする。なお欠席した回の課題は提出できない。 ②小テスト：授業で解説した用語や理論を理解し自分の言葉で適切にまとめられるか。 ③授業内試験：社会問題などの事例を提示するので、それを授業で扱った用語・理論・概念を用いて分析し、自分なりのアプローチでまとめられるか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	社会史と社会構築主義 研究倫理について	講義、質疑応答	次回授業の予習
2	近代の学的知 (1) 歴史学	講義、質疑応答	復習と 2 回のまとめ作成、 次回授業の反転教材視聴
3	近代の学的知 (2) 英文学と文芸批評	講義、質疑応答	復習と 3 回のまとめ作成、 次回授業の予習
4	近代の学的知 (3) 文化人類学・自然人類学	講義、質疑応答	復習と 4 回のまとめ作成、 次回授業の反転教材視聴
5	近代の学的知 (4) ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答	復習と 5 回のまとめ作成、 次回授業の予習
6	王権 (1) 西欧の王 — 皇帝と王をめぐる理論	講義、質疑応答 小テスト①	復習と 6 回のまとめ作成、 次回授業の反転教材視聴
7	王権 (2) 日本の王 — 王と将軍の関係	講義、質疑応答	復習と 7 回のまとめ作成、 次回授業の予習
8	身分階層 (1) 身分と社会的ステータス	講義、質疑応答	復習と 8 回のまとめ作成、 次回授業の反転教材視聴
9	身分階層 (2) カースト制	講義、質疑応答	復習と 9 回のまとめ作成、 次回授業の予習
10	教育と学校 — 教育の誕生と文化資本	講義、質疑応答	復習と 10 回のまとめ作成、 次回授業の反転教材視聴

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	女性と職業 － ガヴァネスと看護師	講義、質疑応答	復習と 11 回のまとめ作成、次回授業の予習
12	家族と社会 (1) 近代イングランド	講義、質疑応答 小テスト②	復習と 12 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
13	家族と社会 (2) 近代日本	講義、質疑応答	復習と 13 回のまとめ作成、次回授業の予習
14	女性のイメージ － 近代日本の女子学生と主婦	講義、質疑応答	復習と 14 回のまとめ作成、試験準備
15	グループ討議、授業内試験①	質疑応答、グループ 討議、試験	次回授業の予習
16	スティグマの付与 (1) 聖女と魔女	講義、質疑応答	復習と 16 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
17	スティグマの付与 (2) アウトサイダー	講義、質疑応答	復習と 17 回のまとめ作成、次回授業の予習
18	死者との交流 (1) 西欧の幽霊	講義、質疑応答	復習と 18 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
19	死者との交流 (2) 日本の幽霊	講義、質疑応答	復習と 19 回のまとめ作成、次回授業の予習
20	他者イメージの構築 ポストコロニアリズム、試験の返却	講義、質疑応答 試験の解説	復習と 20 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
21	言語 (1) 標準語の問題	講義、質疑応答 小テスト③	復習と 21 回のまとめ作成、次回授業の予習
22	言語 (2) クレオール	講義、質疑応答	復習と 22 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
23	法と秩序	講義、質疑応答	復習と 23 回のまとめ作成、次回授業の予習
24	無縁とアジール	講義、質疑応答	復習と 24 回のまとめ作成、次回授業の反転教材視聴
25	ナショナリズム (1) 日本人とは誰か	講義、質疑応答	復習と 25 回のまとめ作成、次回授業の予習
26	ナショナリズム (2) 想像の共同体	講義、質疑応答	復習と 26 回のまとめ作成、次回授業の予習
27	記憶と記録	講義、質疑応答 小テスト④	復習と 27 回のまとめ作成、次回授業の予習
28	サブカルチャー	講義、質疑応答	復習と 28 回のまとめ作成、試験準備
29	グループ討議、授業内試験②	質疑応答、グループ 討議、試験	復習
30	社会構築主義の応用、試験の返却、解説	講義、試験の解説、 質疑応答	復習

テキスト	なし、授業内容をまとめたプリントを moodle から配布
参考書	上野千鶴子『構築主義とは何か』（勁草書房）
その他 特記事項	予習教材を moodle からダウンロードしていただくこと。 授業課題は moodle に提出のこと。

科目名	INT301: 国際関係論				担当教員	岡田 美保	
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	主権国家システム、国民国家、非国家主体、安全保障、国益、規範						
授業の概要	今日の国際関係を理解するには、国家間の相互依存の深化、グローバル化が進むなかで「国家」が果たす役割をどのように考え、評価するかが一つの鍵となる。本科目では、国際関係論の基礎知識を身につけたうえで、具体的な国際問題を事例として取り上げながら、国際関係に関する思考・議論の力を養う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b> 本科目では、国際関係の仕組みや構造についての基礎知識を身につけたうえで、テロや地球環境問題など具体的な国際問題を事例として取り上げ、国際問題の解決がなぜ難しいのか、現実と理想の間を埋める方途とは何かなどを考える時間を設けることで、国際関係論の視座に立って問題を考察する力を養う。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b> さまざまな国際問題について、国際関係論の基礎知識に裏付けられた議論を展開することができる。感情論や印象論ではなく、冷静で客観的なものの見方、論理的な思考・表現力が身につく。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b> 授業参加 (35%)、グループ討議・発表 (20%)、授業内試験 (3回) (45%)</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b> 授業参加：授業の理解度、積極参加、課題への取り組み プレゼンテーション：理解の正確さ、説明・表現の適切さ・分かりやすさ 授業内試験：1回目は用語解説、2回目と3回目は論述問題</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	はじめに：国際関係論と国家の役割	ガイダンス 講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて配布資料を読み返す。
2	国際関係の仕組み (1)：主権国家システムの基本構造	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて配布資料を読み返す。
3	国際関係の仕組み (2)：「国家」の3要素	講義 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて配布資料を読み返す。
4	国際関係の仕組み (3)：国家管轄権の適用基準	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
5	国際関係の仕組み (4)：国家の成立と承認	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
6	国際関係の仕組み (5)：国家間関係の維持と処理	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
7	国際関係の仕組み (6)：国際紛争の解決方法① 外交・司法による解決	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
8	国際関係の仕組み (7)：国際紛争の解決方法② 武力による解決	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
9	国際関係の仕組み (8)：海洋の管轄・利用の国際制度	講義・事例研究 質疑応答	【復習】講義内容をふまえて事例について考える。
10	授業内試験① 用語解説	用語解説の試験 試験終了後、解説	【予習】試験準備
11	捕鯨問題	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12	捕鯨問題に関するグループ討議	グループワーク	【予習】グループ討議の準備。
13	資源・エネルギーと国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
14	資源・エネルギー問題に関するグループ討議	グループワーク	【予習】グループ討議の準備。
15	地球環境と国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
16	地球環境問題に関するグループ討議	グループワーク	【予習】グループ討議の準備。
17	核軍縮と国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
18	核軍縮問題に関するグループ討議	グループワーク	【予習】グループ討議の準備。
19	核不拡散と国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
20	核不拡散問題に関するグループ討議	グループワーク	【予習】グループ討議の準備。
21	授業内試験② 論述問題	論述試験 試験終了後、解説	【予習】試験準備
22	テロと国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
23	テロと国際政治に関する個人発表をもとにグループ討議	グループワーク	【予習】個人発表・グループ討議の準備。
24	難民問題と国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
25	難民問題と国際政治に関する個人発表をもとにグループ討議	グループワーク	【予習】個人発表・グループ討議の準備。
26	南シナ海問題と国際政治	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
27	南シナ海問題と国際政治に関する個人発表をもとにグループ討議	グループワーク	【予習】個人発表・グループ討議の準備。
28	日本の安全保障と国際貢献	講義 質疑応答	【復習】課題に対する自分の答えを再検討。
29	授業内試験③ 論述問題	論述試験 試験終了後、解説	【予習】試験準備
30	日本の安全保障と国際貢献に関する個人発表をもとにグループ討議	グループワーク	【予習】個人発表・グループ討議の準備。

テキスト	授業内容に関するレジюме、およびその他の関連資料を配布する。
参考書	高坂正堯『国際政治 恐怖と希望』（中公新書 1966年8月） 吉田茂『日本を決定した百年』（中公文庫 1999年12月）



科目名	ANT200: 文化人類学					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	月木2限	研究室	4205	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research						
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 By the end of the semester, students should be able to:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences;</li> <li>• understand broadly the range of topics often studied in anthropology;</li> <li>• understand and explain the significance of key examples of those topics;</li> <li>• understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes;</li> <li>• use careful observation and inference-making to gain cultural understanding;</li> <li>• ask good questions for doing qualitative, interview research.</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates good interview research questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrate understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Submit: homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Submit: interview practice worksheet
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: "witchcraft" in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Submit: HW about objective / subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; submit: homework about film
12	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Submit: homework about marriage practices
13	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
14	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Submit: interview practice worksheet
15	Gift-giving and exchange: <i>potlatch</i> (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; submit: Interview Project topic
16	Gift-giving and exchange: <i>kula</i>	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
17	Culture and person / self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
18	Culture and person / self: cultural variations	lecture, pair work	Submit: worksheet on Ch. 8
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Submit: homework on culture-bound illnesses
21	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
22	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
23	Identity: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Submit: copy of actual interview notes
25	Identity: the importance of others	lecture, video, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
26	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
27	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106; submit: Interview Project report
28	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
29	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Submit: Fact Sheet on Iran
30	Discuss film (forming inferences from observations); semester recap	small-group discussion, lecture	Submit: worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. <i>Social &amp; Cultural Anthropology: A Very Short Introduction</i> (Oxford University Press).
参考書	H. Peters-Golden. <i>Culture Sketches: Case Studies in Anthropology</i> (McGraw-Hill).
その他特記事項	Lectures, assignment, and exams will be in English. Each student must do an Interview Project that will require finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART200: 現代美術				担当教員	G. Freddes	
開講期	秋	開講時限	火金2限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Romanticism, Japonisme, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modern Art						
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19 <sup>th</sup> to the 21 <sup>st</sup> Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments in English on the lecture contents. Students will be required to conduct research in an area of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works' formal characteristics, materials, and possess some understanding of it's cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and confidently express personal opinions.</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 Participation and Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, active involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artists and artworks seen in class.) Midterm Report (at least 600 words) and Final Report (at least 800 words): Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his / her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Course introduction. What is Modern Art? The Louvre, Orsay, and Beauborg Museums	Lecture, video, reading, writing	Read textbook pp. 66-71
2	Introduction to the textbook, online resources, and art vocabulary	Lecture, video, note-taking skills, writing	Read text pp. 76-78
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin & Verdi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	View online resources
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91
6	The Industrial Revolution: Early modern architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95
7	Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	Modern Sculpture: Rodin vs. Brancusi	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers or pastels to class
13	Van Gogh: "The Sunflowers"	Video, drawing activity	Read text pp. 123-125
14	Early Expressionism: Munch, Modersohn-Becker; Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, note-taking, writing	Read text pp. 128-132, 136-138
15	Fauvism: Matisse, Vlaminck, Derain, Dufy	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report, Bring scissors, glue, and color paper
16	Matisse: Cutouts: Create a class mural	Art making activity	Read text pp. 116-117, 136-138
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145
18	Futurism, Constructivism, Precisionism, and Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147
19	Modernist Architecture: Le Corbusier	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 148
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 152-153
22	20 <sup>th</sup> Century Photography: Cartier-Bresson	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176
24	Per-Pop and Pop Art	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189
26	Neo-Expressionism	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit Final Reports Read text pp. 190-193
27	Post-Modernism: Diversity	Video, Submit Final Reports, writing	Read pp. 194 to end of text
28	Current Trends 1990-200	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Read handout
29	Current Trends 2001-2015	Lecture, video, note-taking, talk, writing	Submit late Final Reports (will not be returned to you)
30	Course review	Lecture, slideshow, course survey	Last chance to submit the Final Report (not returned)

テキスト	Carol Strickland. <i>The Annotated Mona Lisa, Second Edition</i> (Andrews and Mc Meel).
参考書	<i>The Letters of Vincent van Gogh</i> The Museum of Modern Art: Online Collection
履修条件、 前提科目	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / Bilingual / Japanese. As mentioned above, students will be required to visit two exhibitions at museums.

科目名	EDU302: 比較・国際教育学					担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育						
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。最後に教育の国際比較をテーマにグループでレジюмеを作成し、プレゼンテーションを行う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b>          比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b>          ①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。          ②比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。          ③各国の教育の現状や課題について、文献の内容をまとめてレジюмеを作成し、効果的に発表し、議論することができる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b>          授業時に課すリアクションペーパー (30%)、レジюме・プレゼンテーション (30%)、授業内試験 (40%)</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b>          リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。          レジюме：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。          プレゼンテーション：パワーポイントなど発表を効果的にする資料を準備し、研究内容をわかりやすく伝える工夫をしているか。          授業内試験：授業の内容を理解し、設問に対して正確に回答できているかを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	比較教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	国際教育学の歴史的展開と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配布プリントの復習
3	教育制度の国際比較 (1) —就学率・識字率・児童労働—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	児童労働について調べる 配布プリントの復習
4	教育制度の国際比較 (2) —学校教育制度の類型—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	英文記事の和訳 配布プリントの復習
5	教育制度の国際比較 (3) —教育制度改革の焦点—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布記事を読む 配布プリントの復習
6	教育文化の国際比較	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
7	先進国における学校化社会と学歴 (1) —学校化社会と学歴社会—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布記事を読む 配布プリントの復習
8	先進国における学校化社会と学歴 (2) —ヨーロッパの非学歴社会—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布記事を読む 配布プリントの復習
9	先進国における生涯学習社会	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配布記事を読む 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	発展途上国における識字教育（1） —非識字者の分布と構成—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	非識字について調べる 配布プリントの復習
11	発展途上国における識字教育（2） —識字教育の取り組み—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	識字教育について調べる 配布プリントの復習
12	先進国における国民統合と学校教育（1） —新自由主義的教育政策—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
13	先進国における国民統合と学校教育（2） —多文化共生教育—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
14	多文化教育の国際比較	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
15	発展途上国における国民統合と学校教育 —マレーシアを中心に—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
16	世界のシティズンシップ教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	市民教育について調べる 配布プリントの復習
17	開発と教育（1）—開発教育—	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
18	開発と教育（2）—国際教育協力—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
19	開発と教育（3）—JICA による国際教育 協力の実態—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
20	世界の自由教育	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
21	小括と授業内試験	講義・質疑応答・ 授業内試験	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
22	アジアの教育（1）東アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
23	アジアの教育（2）東南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
24	アジアの教育（3）南アジア	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
25	西ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
26	北ヨーロッパの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
27	中東の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
28	アフリカの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
29	北米・中南米の教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
30	オセアニアの教育	口頭発表・講評 リアクションペーパー	口頭発表の準備 配布レジユメの復習
テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。		
参考書	石附 実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮皓編著『世界の学校』（学事出版）		
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。		

科目名	EDU321: 社会正義のグローバルリテラシー				担当教員	M. Andrade	
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4206	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	education, social justice, literacy, reading, writing, UNESCO						
授業の概要	This course, Literacy Education and Social Justice: A Global Perspective, aims to develop an understanding of literacy and its relationship to social justice (equality, human rights), especially in developing countries. It considers literacy from social, economic, political, and educational viewpoints. Activities include close reading and discussion of UNESCO reports supplemented by other readings, videos, and web sites of literacy organizations.						
達成目標 および 到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 To develop an understanding of literacy and its relationship to social justice, especially women's literacy in developing countries. To develop an understanding of literacy from social, economic, political, and educational viewpoints.</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】 In discussions, on written homework assignments, and on quizzes and tests, students will be able to (1) summarize and explain the core literacy concepts presented in each lesson, (2) give examples of how literacy is connected to social justice, and (3) explain the problems faced by literacy programs and possible solutions to them.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 (1) Written homework 20%, (2) Participation in discussions 20%, (3) Weekly quizzes 20%, (4) Two in-class tests 40% (20% each).</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 Each category above will be graded holistically on a 4-point scale (4 = excellent, 3 = good, satisfactory = 2, 1 = needs improvement): (1) Accuracy of answers and completeness of homework assignments. (2) Active participation in discussions. (3) Quizzes: Ability to summarize main ideas and define terminology on weekly quizzes. (4) Tests: Ability to explain and give examples of the social, economic, political, and educational aspects of literacy on in-class tests.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Introduction. "When you educate a girl, everything changes" ( <i>Room to Read</i> )	lecture, discussion, video	<i>Global Literacy Challenge</i> (GLC) pp. 7-10
2	GLC: "Literacy in the 21st century" LWE: "1. Introduction, 2. Background data"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 9-11. <i>Literacy and Women'</i> (LWE) pp. 7-9
3	GLC: "The United Nations Literacy Decade" LWE: "3.1 Literacy is a human right"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 12-14 LWE: pp. 11-12
4	GLC: "Literacy Initiative for Empowerment" LWE: "3.2 Literacy learning & development"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 15-16 LWE: pp. 12-14
5	GLC: "What does literacy mean?" LWE: "3.3 Literacy learning...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 17-19 LWE: pp. 14-15
6	GLC: "Numeracy" LWE: "3.3 Literacy learning...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: p. 20 LWE: pp. 16-17
7	GLC: "Literacy: the foundation of lifelong..." LWE: "4.1 Raising voices...in Nepal"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 21-22 LWE: pp. 19-22
8	GLC: "Literacy: where do we stand?" LWE: "4.2 Literacy & life skills in Indonesia"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 23-26 LWE: pp. 22-25
9	GLC: "Literacy and human rights" LWE: "4.3 Claiming employment...in India"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 27-28 LWE: pp. 25-28
10	GLC: "Inclusion and equity..." LWE: "4.4 Women & literacy...Sierra Leone"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 29-32 LWE: pp. 28-32

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	GLC: "Getting the chance to learn literacy" LWE: "4.5 Children's nutrition...in Senegal"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 33-35 LWE: pp. 32-35
12	GLC: "Literacy and gender" LWE: "4.6 Learning reading...in Brazil"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 36-38 LWE: pp. 35-39
13	Review lessons 1-12	small group discussions and one-to-one advice	Review the readings and your notes.
14	Review (30 min.). In-class test (60 min.)	small group discussions and written test	Study for the test.
15	GLC: "Literacy and poverty reduction" LWE: "4.7 Literacy & learning...Pakistan"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 39-40 LWE: pp. 39-42
16	GLC: "Literacy in conflict-affected areas" LWE: "4.8 Women, family...in Turkey"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 41-42 LWE: pp. 42-47
17	GLC: "Making policy for literacy" LWE: "Functional adult literacy" (Turkey)	lecture, discussion, video	GLC: pp. 43-47 LWE: pp. 47-49
18	GLC: "Putting policy into practice" LWE: "4.9 Bilingual literacy...in Bolivia"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 48-50 LWE: pp. 50-56
19	GLC: "Promoting quality literacy" LWE: Challenge: "5.1...empowerment"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 51-56 LWE: pp. 56-58
20	GLC: "The language question" LWE: Challenge: "5.2...traditional beliefs"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 57-58 LWE: pp. 58-61
21	GLC: "Developing capacity for literacy" LWE: Challenge: "5.3 Participation..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 59-61 LWE: pp. 61-62
22	GLC: "Literate environments" LWE: Challenge: "5.4 Involving men..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 62-67 LWE: pp. 62-63
23	GLC: "Monitoring and evaluation" LWE: Challenge: "5.5...not attractive..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 68-70 LWE: pp. 63-65
24	GLC: "Funding literacy" LWE: Challenge: "5.6 Building capacity..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 71-73 LWE: pp. 66
25	GLC: "Partnerships for literacy" LWE: Challenge: "5.7 Opportunities..."	lecture, discussion, video	GLC: pp. 74-76 LWE: pp. 66-67
26	GLC: "Call to Action" LWE: Challenge: "5.8...influencing policies"	lecture, discussion, video	GLC: pp. 77-79 LWE: pp. 68-69
27	LWE: "Recommendations" (strategies, etc.). Review lessons 15-27	lecture, discussion, video	LWE: pp. 71-76
28	Review lessons 15-27	small group discussions and one-to-one advice	Review the readings and your notes.
29	Review (30 min.). In-class test (60 min.)	small group discussions and written test	Study for the test.
30	Review and Reflection. Course Evaluation Questionnaire.	discussion, reflection, one-to-one consultation	Review your portfolio. Prepare for reflection.

テキスト	Mark Richmond et al. (Eds.). <i>The Global Literacy Challenge</i> (UNESCO). Web (PDF). Janine Eldred. <i>Literacy and Women's Empowerment: Stories of Success and Inspiration</i> (UNESCO Institute for Lifelong Learning). Web (PDF).
参考書	Asia Pacific Literacy Database (Web), You Tube videos ("Lines In the Dust"- Ghana), Websites (READ Global), and additional articles. Some chapters above may be replaced with updated data.
その他 特記事項	As this is a college-level content course similar to studying abroad, it is strongly recommended that students have English ability equivalent to a TOEIC level of 600 or more.



科目名	PHL210: 倫理学					担当教員	丹木 博一
開講期	春	開講時限	火金1限	研究室	4214	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	よく生きること、幸福、正義、善、人格、徳、規範、自由、義務、目的、責任、愛						
授業の概要	「人生いかに生きるべきか」「よく生きるにはどのような行為選択を行うことが必要か」という倫理学の根本問題を追求する。善悪の基準や行為選択の指針に関する倫理学の歴史を辿りながら、生き方のよしあしを識別し、正しく行為するために、大切にしなければならない道徳的規範はどのようなものであるかを、具体的事例に関するディスカッションを通して考察する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>「人生いかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回の講義を通して、倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。</li> <li>・行為選択の倫理的規範にはどのようなものがあるかを理解し、それに対する自分の意見を明確に表現することができる。</li> <li>・倫理的な問いを提起し、その問いに関する自分自身の考えを展開し、なぜそう考えるのか、その理由を説明できる。</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>授業毎のリアクションペーパー (30%)、中間課題 (1,500字以上のレポート) (20%)、期末課題 (2,500字以上のレポート) (50%)</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>リアクションペーパー：倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。</p> <p>中間課題：倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。</p> <p>期末課題：最低一冊は参考文献を読み、関心を寄せるテーマについて自分の言葉で問いを提起し、その問いに関するさまざまな考えを理解した上で、理由を挙げて自分の考えを論じることができるかどうか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	よく生きることと行為の正しさへの問い	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 13-37 頁
2	正しさの3つの視点：福祉・自由・美德	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 37-55 頁
3	道徳的ジレンマ	ディスカッション リアクションペーパー	行為の正しさの尺度に関するディスカッションの準備
4	ベンサム功利主義	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 56-75 頁
5	ミルの功利主義	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 75-96 頁
6	功利主義の意義と限界	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 23-55 頁・功利主義についてディスカッション準備
7	ノージックのリバタリアニズム (自由至上主義)	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 97-110 頁
8	所有権の範囲 ——臓器売買の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 110-123 頁
9	自由とそれ以外の道徳的価値の関係	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 88-115 頁・自由をめぐるディスカッションの準備

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	市場と道徳	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 124-148 頁
11	契約の有効性の根拠 ——代理母出産の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 148-166 頁
12	市場原理の問題点と生存権	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 150-184 頁・市場に関するディスカッションの準備
13	カントの義務論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 167-198 頁
14	道徳法則の普遍妥当性 ——嘘をつくことの是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 198-223 頁
15	行為の動機と結果	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 56-87 頁・カントに関するディスカッションの準備
16	ロールズの正義論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	中間課題提出 テキスト① 224-246 頁
17	平等という理念	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 246-263 頁
18	格差原理についての問い	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 116-149 頁・ロールズに関するディスカッションの準備
19	アフターマティヴ・アクション	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 264-278 頁
20	正義と美德——入学許可競売の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 278-289 頁
21	多様性確保と分配の正義	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 217-244 頁・公正に関するディスカッションの準備
22	アリストテレスの目的論	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 290-314 頁
23	善き生の本質 ——奴隷制の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 314-327 頁
24	行為の目的とケイパビリティアプローチ	ディスカッション リアクションペーパー	テキスト② 185-216 頁・徳倫理に関するディスカッションの準備
25	行為の責任	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 328-354 頁
26	マッキンタイアのコミュニタリアニズム (共同体主義)	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 354-381 頁
27	共同体主義の意義と問題点	ディスカッション リアクションペーパー	共同体主義に関するディスカッションの準備
28	正義と共通善	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 382-394 頁
29	共通善に基づく政治 ——同性婚の是非	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト① 395-419 頁
30	他者とともによく生きる	講義・ディスカッション リアクションペーパー	期末課題提出・共生に関するディスカッションの準備

テキスト	① マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ文庫） ② 馬淵浩二『貧困の倫理学』（平凡社新書）
参考書	加藤尚武『現代倫理学入門』（講談社学術文庫） 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4211	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Peace, development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership						
授業の概要	This course deals in detail with the “Millenium Developmet Goals (MDGs)” (ミレニアム開発目標) initiated by the United Nations Organization in the year 2000 and how it is implemented in various countries until today. The main focus of this course is on the interrelatedness of ‘Peace’ and ‘Development’. Further, this course will concentrate on case studies from developing countries especially Asia and Africa.						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>In this course, students will learn how development promotes peace in relation to MDGs. Students will also learn in particular about the eight MDG goals, their twenty one different targets, and the role of local governments and international organizations in achieving these goals in various parts of the world.</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>By the end of the semester, students will acquire deeper understanding about economic development, human development, participatory development, sustainable development, poverty eradication, promoting gender equality, improving maternal health, environmental sustainability, universal primary education, reducing child mortality, combating HIV / AIDS, Malaria and other diseases and global partnership.</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>Mini tests (25%), Presentation (25%), Class participation (25%), Final Report (25%)</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>To be distributed at the first class.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Overview of the course: the role of UN, the UN member countries	lecture, video, reading, discussion	Read <a href="http://www.un.org/en/aboutun/index.shtml">http://www.un.org/en/aboutun/index.shtml</a>
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
3	Least developed countries, African Union, African Development Foundation (ADF)	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for discussion and mini test
4	Introduction to development, relation between development and growth	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
5	Economic development: infrastructure, wage, saving, investment, GNP, GDP, Per capita	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
6	Human development: education, health, access to income, gender equality	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
7	Participatory development / Social development: freedom, democracy, H. rights	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for min test and discussion
8	The relationship between peace and development	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
9	Goal 1: Eradicate extreme poverty (1): Halve, by 2015, the people who suffer from hunger	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
10	Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger (2): Food Security Bill, India	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
11	Goal 1: Eradicate Extreme Poverty and Hunger (3): NREGA, India	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (1)	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
13	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (2), RTE India	lecture, video, reading, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
14	Goal 2: Ensure Universal Primary Education by 2015 (3), UNICEF	lecture, video, reading, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
15	Goal 3: Promote gender equality and empower women (1)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
16	Goal 3: Promote gender equality and empower women (2), Global Gender Report Report	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
17	Goal 3: (3), UNESCO: Priority Gender Equality Action Plan 2008-2013	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
18	Goal 4: Reduce Child Mortality: Reduce the mortality rate of children under five (1)	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
19	Goal 4: Reduce Child Mortality: UNICEF's role and activities (2)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
20	Goal 5: Improve Maternal Health Reduce maternal mortality ratio (1)	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
21	Goal 5: Improve Maternal Health (2): UN Women (UNW)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
22	Goal 5: Improve Maternal Health (2): WHO and women's health	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
23	Goal 6: Combat HIV / AIDS, Malaria and other diseases (1)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
24	Goal 6: Combat HIV / AIDS, Malaria and other diseases (2) WHO and AIDs, IAS, UNAIDS	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
25	Goal 7: Ensure Environmental Sustainability sustainable development (1)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
26	Goal 7: Ensure Environmental Sustainability: reduce biodiversity loss (2)	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
27	Goal 7: Environmental Sustainability: access to safe drinking water and basic sanitation (3)	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
28	Goal 8: Develop a Global Partnership for Development (1)	lecture, presentation, discussion	Read handouts, do exercises, prepare for discussion
29	Goal 8: Develop a Global Partnership for Development (2): UNEP	lecture, presentation, discussion, mini test	Read handouts, prepare for mini test and discussion
30	Conclusion : Post MDGs; submission of the final report	Lecture, discussion	Prepare the final report

テキスト	Materials adapted from the Millenium Development Goals Report 2015 will be used for lecture. <a href="http://www.un.org/millenniumgoals/2015_MDG_Report/pdf/MDG%202015%20rev%20(July%201).pdf">http://www.un.org/millenniumgoals/2015_MDG_Report/pdf/MDG%202015%20rev%20(July%201).pdf</a>
参考書	Joseph, John & Agustine, Sali. <i>Global Development Study</i> (Puthen research institute, Sophia University).
履修条件、前提科目	Since this course is offered entirely in English, students are expected to read the handouts beforehand; check the meaning of new vocabulary, and prepare for discussion in every class.

科目名	LIT323: イギリスの文化と文学					担当教員	山本 浩
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	イギリスの4つの国、英語、階級、教育、キリスト教、芸術、メディア、食文化						
授業の概要	イギリス（連合王国）を構成している England, Scotland, Wales, Northern Ireland とその民族、England の言語である英語の歴史と特徴、イギリス社会の中で階級がもつ意味、イギリスの初等・中等教育と高等教育の歴史と現在、イギリスのキリスト教の歴史、イギリスの芸術（とくに美術と演劇）、イギリスの新聞と放送の特徴、イギリスの食事と紅茶文化について学び、同時に、それに関連した文学作品を読む。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>イギリスと英語を理解するために、イギリスの文化のいろいろな面について学び、イギリスがどのような国であり、英語がどのような言語であるかが分かるようになることを目的とする。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>イギリスの4つの国とその民族、英語の成り立ち・発展・現状、イギリス社会の階級、イギリスの教育、イギリスのキリスト教、イギリスの芸術、イギリスのメディア、イギリスの食文化について十分な理解があり、また、イギリス文学の中でそれらがどのように扱われているかを作品を通して理解できるようになっていることを到達目標とする。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>小テスト 50% 小論文 30% 授業への積極参加 20%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>小テスト 授業で取り上げた4つの国、英語の歴史、階級、教育、キリスト教、芸術、メディアなどの基本的な事柄をよく理解しているかを見る 小論文 課題に沿った内容であるか、よく考えられた議論を展開しているかを見る 授業への積極参加 授業での質問・発言・意見表明などを積極的に行なったかを見る</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	イギリスの4つの国と民族（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	イギリスの4つの国と民族（近代～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	イギリスの4つの国についての評論文	“Being British” の講読と研究	事前に“Being British”を読む
4	英語の歩み（Old English から Middle English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	英語の歩み（Middle English から Modern English へ）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	OE, ME, ModE の実例	OE, ME, ModE の「主の祈り」を読む	事前に「主の祈り」（日本語）を読む
7	小テスト（45分）と1回～6回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
8	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
9	イギリス社会の階級（階級とは何か）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	イギリス社会の階級（階級と英語）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
11	D. H. Lawrence, <i>Sons and Lovers</i> に見られる階級	<i>Sons and Lovers</i> の抜粋の講読と研究	事前に <i>Sons and Lovers</i> の翻訳を読む
12	イギリスの教育（初等・中等教育）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	イギリスの教育（高等教育）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	Roald Dahl, <i>Boy</i> に見られるイギリスの教育	Roald Dahl, <i>Boy</i> の講読と研究	事前に <i>Boy</i> の翻訳を読む
15	小テスト（45分）と9回～14回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
16	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
17	イギリスのキリスト教（古代～中世）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	イギリスのキリスト教（宗教改革～現代）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	Graham Greene, <i>The End of the Affair</i> に見られるキリスト教	<i>The End of the Affair</i> の講読と研究	事前に <i>The End of the Affair</i> の翻訳を読む
20	イギリスの芸術（美術）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	イギリスの芸術（演劇）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	イギリス演劇の一例として Harold Pinter, <i>Family Voices</i> を読む	<i>Family Voices</i> の講読と研究	事前に <i>Family Voices</i> の翻訳を読む
23	小テスト（45分）と17回～22回の授業の復習（45分）	テスト実施と復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストの問題に皆で解答する	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスのメディア（新聞）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	イギリスのメディア（ラジオ・TV）	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	イギリスの食文化	パワーポイントを使用した講義	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	George Orwell, “A Nice Cup of Tea” を読む	“A Nice Cup of Tea” の講読と研究	事前に “A Nice Cup of Tea” の翻訳を読む
29	小テスト（45分）と小テストのふりかえり	テスト実施、終了後、皆で解答する	小テストの準備学習、そして復習
30	小論文の講評	小論文を返却し講評する	返却された小論文を読み直す

テキスト	とくに使用しない。事前にパワーポイントのファイルをダウンロードして、授業前によく読んでおく。授業には、ファイルをプリントしたものを持参する。
参考書	『イギリス文化事典』（丸善出版）

科目名	LIT320: 演劇研究				担当教員	飯田 純也	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4216	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	演劇、古代古典演劇、悲劇、喜劇、ソフォクレス、アリストファネス、シェイクスピア						
授業の概要	西洋演劇の歴史を古代ギリシャにさかのぼり、劇作家たちがどのように国家、自然、戦争、平和、男性、女性を描き、どのようなメッセージを残そうとしてきたのか検討する。その上で、哲学者たちが演劇をどのように見なしていたのか考え、演劇の思想史を明らかにする。履修者は、配布資料（英文）を読みながらノートを取り、解釈や意見をまとめ、1人1回の口頭発表と7回の小論文提出（日本語で2,000字以上）を行う。期末レポート（日本語で10,000字以上）は、自分で選んだ作品とテーマで書く。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>この授業の目標は、演劇の思想史の視点から、学生が演劇の意義を理解し、演劇研究を通じて人文及び社会科学の理論を批判的に再検討することができるようになることである。同時に、毎回のパワーポイント資料（英語）等を読み、自らの意見を資料と照らし合わせながら、小論文を書く能力を身につけることである。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西洋文学の古典を深く理解することができる</li> <li>作品理解の深化によって、西洋文明の問題や課題を理解することができる</li> <li>問題意識を他の人文科学及び社会科学の研究に応用することができる</li> <li>小論文をまとめる能力を身につけることができる</li> </ul>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>1. 小論文が7回の提出で計40%、2. 期末レポートが20%、3. 口頭発表が10%、4. 授業参加状況が30%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>詳細は初回授業時に説明する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業紹介	講義、質疑応答、ディスカッション	百科辞典で授業のキーワードを調べる
2	演劇論 (1) The origin of drama as ritual	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習
3	演劇論 (2) Tragedies and comedies	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習
4	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (1) 物語の確認、分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
5	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (2) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
6	Sophocles, <i>Oedipus the King</i> (3) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
7	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
8	Sophocles, <i>Oedipus at Colonus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.1 の準備（提出は次回授業時）
9	Seneca, <i>Oedipus</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
10	Seneca, <i>Oedipus</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no.2 の準備（提出は次回授業時）

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	プラトン vs アリストテレス (1) <i>Plato's Republic</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、要点をノート
12	プラトン vs アリストテレス (2) <i>Aristotle's Poetics</i>	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、要点をノート
13	プラトン vs アリストテレス (3) <i>Aristotle's Nicomachean Ethics</i>	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 3 の準備（提出は次回授業時）
14	Sophocles, <i>Antigone</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
15	Sophocles, <i>Antigone</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 4 の準備（提出は次回授業時）
16	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
17	Shakespeare, Tragedies, <i>Hamlet</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
18	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
19	Shakespeare, Tragedies, <i>King Lear</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 5 の準備（提出は次回授業時）
20	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
21	Aristophanes, <i>Lysistrata</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 6 の準備（提出は次回授業時）
22	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
23	Shakespeare, Comedies, <i>The Midsummer Night's Dream</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
24	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
25	Shakespeare, Comedies, <i>Much Ado About Nothing</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
26	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (1) 分析の手がかり	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料（英文）の予習、筋と要点をノート
27	Shakespeare, Comedies, <i>Twelfth Night</i> (2) 討論	講義、学生発表、ディスカッション	小論文 no. 7 の準備（提出は次回授業時）
28	研究倫理 期末レポート作成 (1)	講義、グループワークで相互発表・評価	期末レポートの準備 作品、テーマの決定
29	期末レポート作成 (2)	グループワークで相互発表・評価	期末レポートの準備
30	学生発表 総括	ボランティア学生の発表、講評	期末レポートの提出
テキスト	プリントを随時配布する		
参考書	Brown, John Russell, ed. <i>The Oxford Illustrated History of Theatre</i> (Oxford University Press, 1995); McDonald, Marianne, and J. Michael Walton, eds. <i>The Cambridge Companion to Greek and Roman Theatre</i> (Cambridge University Press, 2007); Kastan, David Scott, ed. <i>A Companion to Shakespeare</i> (Blackwell Publishers Inc., 1999)		



科目名	LIT324: キリスト教と文学					担当教員	山本 浩
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4212	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	ユダヤ教、キリスト教、カトリック、プロテスタント、文学とキリスト教						
授業の概要	キリスト教はどのようにして成立し、どのようにしてヨーロッパを中心として世界に広がり、展開してきたかを歴史的にたどる。また、それぞれの時代にイギリスの文学者は、キリスト教とどのような関係を持ち、どのように文学作品のテーマにキリスト教を据えたかを考察する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>キリスト教の成立、発展、宗教改革、諸教派の展開などを通して歴史的に見ることによって、キリスト教がどのような宗教であるかを理解すること、そして、各時代の文学者と文学作品がキリスト教とどのように関わったかを理解することを目的とする。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>キリスト教の成り立ち、中世とキリスト教、宗教改革、キリスト教の諸教派、近現代のキリスト教について基礎的な知識をもつことによってキリスト教を歴史的観点から理解すること、また、中世のキリスト教的演劇、シェイクスピア、ロマン派詩人、ディケンズ、ハーディ、チェスタトン、ウォー、グリーンなどの作品の中にどのようなキリスト教的思想があるかについて知識をもつことによって文学とキリスト教の関係を理解することを目標とする。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>授業参加 30% 授業内容の理解度を確認する小テスト 70%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>キリスト教の成立から今日までの展開についての知識を得ているか、また、取り上げた作家、文学作品とキリスト教の関係についての知識を得ているかが評価される。また、授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかが評価される。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	ユダヤ教からキリスト教へ	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	キリスト教の成立	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	キリスト教の広がり	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	中世ヨーロッパのキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	中世のキリスト教と文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	小テスト 1～5回目授業の復習	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
7	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
8	ヨーロッパ大陸の宗教改革（ルター）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	ヨーロッパ大陸の宗教改革（ツヴィングリ、カルヴァンなど）と対抗宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
10	イングランドの宗教改革（テューダー朝）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	イングランドの宗教改革（ステュアート朝）とピューリタン革命	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	シェイクスピアとキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	16、17世紀の文学とキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	小テスト 8～12回目授業の復習	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
15	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
16	王政復古、名誉革命、寛容令	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
17	18世紀の文学とキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
18	メソディズム	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	近現代のプロテスタント諸教派	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	東方正教会	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	ヴィクトリア朝のキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	小テスト 15～21回目授業の復習	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
23	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
24	オックスフォード運動	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
25	19世紀の文学とキリスト教（ロマン派）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	19世紀の文学とキリスト教（ディケンズ、ハーディ）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	20世紀のキリスト教	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	20世紀の文学とキリスト教（とくにカトリック作家たち）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
29	小テスト	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
30	24～28回目授業の復習	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。		
参考書	『新共同訳聖書』（日本聖書協会）、百瀬文晃『キリスト教の原点－キリスト教概説 1』（教友社）、百瀬文晃『キリスト教の本質と展開－キリスト教概説 2』（教友社）、その他については、そのつど紹介する。		

科目名	ENG350: 翻訳演習					担当教員	永野 良博
開講期	秋	開講時限	月木5限	研究室	4218	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	文学言語の翻訳、英文和訳、語彙、文法、構文、現代アメリカ小説、アメリカ文化						
授業の概要	様々な文体で書かれた、主に現代アメリカの小説を読み、それに相応しい文章で日本語訳してゆく。毎回の授業で、個々の学生が作る訳文の発表があり、それを基に意見交換をしながら共同で訳文を作成する。同時に教員の訳文、翻訳家の訳文との比較、検討を行う。また小説を翻訳するため、文学的主題の理解も深める必要がある。哲学的な瞑想、戦争の記述、家族・親子の問題、階級など多様な主題を扱う文章を検討してゆく。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b> 主に現代アメリカ小説からの抜粋を読み、翻訳の技術を高めてゆく。多くの文学作品に触れ、文学への理解を深めることが出来るようにする。文章の背後にある作家の世界観、文化的・歴史的背景への理解も深める。比喩的な言語や、重層的な意味を持つ言語を、背後にある思想的に読み取りながら、翻訳をする技術を高める。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b> 学期前半では単語、文法、構文理解等のレベルから学習し始めて英文和訳の基礎を固める。その作業を継続しながら、少しずつ日本語らしい文章で翻訳が出来るようになれば望ましい。また訳文の発表と質疑応答を通して、英文理解を深め、翻訳の可能性を広げる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b> 授業参加 (20%)、発表 (40%)、テスト (40%)</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b> 授業参加では、個々の学生が事前に辞書を引き、独自の訳文を口頭で述べる事が出来ること。発表では正確で独自の訳文を作成し、それに関する的確な語・文法の注等を加えて原稿を作り、質疑応答を行う。質疑応答では、正確な英語理解に基づいた受け答えが出来る事が重要。テストでは、正確で上質な日本語を使った訳文の作成が求められる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	授業紹介、Paul Auster による作品 <i>Ghosts</i> 導入	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
2	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (文学的主題: 生の在り方)	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
3	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (存在と自己同一性)	講義と意見交換	テキスト第一章を読む
4	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (不確定性と因果関係)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
5	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (自己とその分身)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
6	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (他者との関わりと自由)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
7	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (孤独と自己同一性の崩壊)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
8	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (他者への不信任)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
9	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (他者への不信任と陰謀)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (名前の恣意性)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
11	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (他者による自己の承認)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
12	Auster, <i>Ghosts</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (他者との共存)	発表と意見交換	テキスト第一章を読む、訳文作成
13	Tim O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 導入、語彙・文法学習、訳文作成	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
14	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (戦争と道徳)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
15	まとめ、テスト	発表と意見交換及びテスト	テキスト第二章を読む、訳文作成、テスト準備
16	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (善と悪)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
17	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (悪への忠誠)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
18	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (徴兵忌避)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
19	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (友人の死)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
20	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (物語と自己)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
21	O'Brien, <i>The Things They Carried</i> . 語彙・文法学習、訳文作成 (物語と真実)	発表と意見交換	テキスト第二章を読む、訳文作成
22	J.D. Salinger, <i>The Catcher in the Rye</i> 語彙・文法学習、訳文作成 (虚偽の世界)	発表と意見交換	テキスト pp.114-118 を読む、訳文作成
23	Kurt Vonnegut, <i>Slaughterhouse-Five</i> 語彙・文法学習、訳文 (戦争、トラウマ)	発表と意見交換	テキスト pp.119-124 を読む、訳文作成
24	Raymond Carver, "What We Talk..." 語彙・文法学習、訳文作成 (夫婦の破綻)	発表と意見交換	テキスト pp.125-130 を読む、訳文作成
25	John Irving, <i>The Hotel New Hampshire</i> 語彙・文法学習、訳文作成 (性、家族)	発表と意見交換	テキスト pp.131-137 を読む、訳文作成
26	Margaret Atwood, <i>The Handmaid's Tale</i> 語彙・文法学習、訳文作成 (性差)	発表と意見交換	テキスト pp.138-143 を読む、訳文作成
27	Kazuo Ishiguro, <i>The Remains of the Day</i> 語彙・文法学習、訳文作成 (階級)	発表と意見交換	テキスト pp.144-148 を読む、訳文作成
28	その他の作品読解、テスト	発表と意見交換及びテスト	指定された文の読解、訳文作成、テスト準備
29	その他の作品読解	発表と意見交換	指定された文の読解、訳文作成
30	まとめ	発表と意見交換	指定された文の読解、訳文作成

テキスト	上岡伸夫『現代英米小説で英語を学ぼう <i>Read and Translate</i> 』(研究社)
参考書	ポール・オースター『幽霊たち』(新潮文庫) ティム・オブライエン『本当の戦争の話をしよう』(文春文庫)

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4215	オフィスワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	言語コミュニティ、地域方言、社会方言、多言語主義、Style shift、Politeness、文化						
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学習内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言といった社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストおよび関連する内容についてのハンドアウトを中心に講義形式で進められ、理解促進のため必ず単元ごとに既習内容のレビューを行う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b> 本講で対象となる言語社会は学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b> 上記の達成目標をもとに、本講では学生が言語使用や言語バリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、それを理解することで、自らが日々の生活の中でどのように言葉を使い生活しているのか、自分の母語および学習言語がどのような状況に置かれているのか、また自分の言語（特に母語）がどのように自らのアイデンティティを形成しているのかなどについて、客観的に認識できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b> ▶理解度テスト1 (35%)、▶理解度テスト2 (35%)、▶Summary Report (20%)、▶授業参加度/提出物 (10%)</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b> ▶理解度テスト1：学期前半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶理解度テスト2：学期後半部分の学修内容について、その理解と定着度を確認する。 ▶Summary Report：社会言語学に関する入門書（洋書）から25ページ分を抜粋したプリントを読み、Summary（要約）を日本語でレポートの形式で作成する。用語、概念、理論等が関連する言語例を用いて十分に説明されているかどうかを確認する。 ▶授業参加度/提出物：授業内での発言・質問（レビュー時）や提出物の出来</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Course overview 本講を概観する	講義、ディスカッション	テキストのまえがきを読む
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション	プリントの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、Review session	テキスト (ch. 1)、プリントの予習・復習
4	Multilingualism 多言語社会	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2言語併存の状況	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
8	Language death: "Ainu Rebels" 言語の死	講義、ディスカッション、DVD 視聴	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
9	Language death 言語の死	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
10	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、動画視聴	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
11	Pidgin and Creole ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 2)、プリントの予習・復習
12	Regional variation: Studies by Labov 地域方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
13	Regional variation: Variation in English 地域方言：英語の地域差	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
14	World Englishes: Three Concentric Circle 国際語としての英語のバリエーション Review of the first half 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習、前半の復習
15	Review of the first half 前半のまとめ 理解度テスト 1	質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
16	Social variation: social class 社会方言：社会階級	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
17	Social variation: gender 社会方言：性差	講義、ディスカッション、ビデオ視聴	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
18	Social variation: ethnic group 社会方言：人種・民族	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
19	Social variation: age and generation 社会方言：年齢・年代	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 3)、プリントの予習・復習
20	Audience Design オーディエンス・デザイン	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 4)、プリントの予習・復習
21	Accommodation Theory アコモデーション理論	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 4)、プリントの予習・復習
22	Politeness: Its background ポライトネス：その背景	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 4)、プリントの予習・復習
23	Politeness: B & L's politeness ポライトネス：ブラウン&レビンソン	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 4)、プリントの予習・復習
24	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 5)、プリントの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Culture 異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 5)、レジュメの予習・復習
26	Cross-cultural Communication: Context 異文化コミュニケーション：文脈	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 5)、レジュメの予習・復習
27	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis 異文化コミュニケーション	講義、ディスカッション	テキスト (ch. 5)、レジュメの予習・復習
28	Language policy 言語政策 Review of the second half 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト (ch. 5)、レジュメの予習・復習、後半の復習
29	Review of the second half 後半のまとめ 理解度テスト 2	質疑応答、試験実施	理解度テストに向けた準備
30	Course review まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト・レジュメの復習

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参考書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版）
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、あるいは同時履修していることが望ましい。よってそうでない場合には履修登録前に担当教員と話をする必要がある。

科目名	LNG305: 音声学				担当教員	
開講期		開講時限		研究室	オフィスアワー	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード						
授業の概要						
達成目標 および 到達目標	<p>詳細については後日 <b>Loyola</b> 「上智大学短期大学部掲示板」にてお知らせします</p>					
評価方法 および 評価基準						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

テキスト	
参考書	
履修条件、 前提科目	
その他 特記事項	



科目名	LNG330: 日本語学				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	日本語の音韻論、統語論、語用論、社会言語学						
授業の概要	日本語のしくみについて、音韻論、統語論、形態論、意味論、語用論、社会言語学等の分野別に学ぶ。例えば、音韻論では、日本語の母音や子音の種類と分布の特徴、アクセントの型などを学び、統語論では文の構造について、形態論では語の成り立ちや動詞の活用について学ぶ。授業では、講義だけではなく毎回ディスカッションの時間を設け、文法の暗記ではなく自分達で日本語の構造を考えていく。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>本科目は、日本語学習者から見た日本語の構造を理解し、説明する知識を身につけることを目的としている。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objective</i>】</p> <p>高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法へのアプローチを身に付け、日本語をひとつの言語として客観的に捉えられるようになる。日本語と英語の構造や言語使用の語用論的な違い、世代差や地域差などを分析し、データや例文を提示しながら記述できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>授業への積極参加 20%、小テスト 30%、授業内試験 50%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>授業への参加：授業内のディスカッションや発言を評価する。  小テスト：高校まで習ってきた学校文法とは異なる文法理解を評価する。  授業内試験：日本語をひとつの言語として客観的に捉え、日本語の言語使用をデータや例文を提示しながら記述できるかどうか評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	日本語学について	講義、ディスカッション、質疑応答	「日本語学について」の章を読んで復習
2	音声・音韻 1 －音素とは / 日本語の母音と子音	講義、ディスカッション、質疑応答	「音声・音韻」の章を読み、音声記号を暗記
3	音声・音韻 2 －日本語の異音	講義、ディスカッション、質疑応答	50音表を音声記号を用いて書く
4	音声・音韻 3 －日本語のアクセント	講義、ディスカッション、質疑応答	アクセントの章を読む
5	前回までの復習	小テスト及びテストの解説、形態論導入	次回の予習と復習
6	形態論 1 －学校文法の動詞の活用と問題点	講義、ディスカッション、質疑応答	「形態論」の章全体を読む
7	形態論 2 －日本語教育で使用する動詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	学校文法の動詞表と新たに習ったものを比較
8	形態論 3 －「て形」のルールを探す	講義、ディスカッション、質疑応答	上記を暗記する
9	形態論 4 －形容詞の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	形容詞の活用を覚える
10	格 1 －格助詞	講義、ディスカッション、質疑応答	「格」の章全体を読む

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	格 2 －意味の格：深層格	講義、ディスカッション、質疑応答	次回の章をもう一度読む
12	形態論と格の復習	小テスト及びテストの解説、受け身導入	第 6 回以降の復習
13	受け身 1 －視点について	講義、ディスカッション、質疑応答	「受け身」の章全体を読む
14	受け身 2 －日本語の受け身の種類と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	受け身の機能を整理する
15	使役 －使役の構造と機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「使役」の章全体を読む
16	授受表現 1 －英語と日本語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答	「授受表現」の章全体を読む
17	授受表現 2 －授受表現と文化	講義、ディスカッション、質疑応答	授業の復習
18	受け身・使役と授受表現の復習	小テスト及びテストの解説、テンス導入	第 13 回以降の復習
19	テンス 過去と非過去	講義、ディスカッション、質疑応答	「テンス」の章全体を読む
20	アスペクト －「ている」の機能	講義、ディスカッション、質疑応答	「アスペクト」の章全体を読む
21	敬語 1 －尊敬語と謙譲語	講義、ディスカッション、質疑応答	「敬語」の章全体を読む
22	敬語 2 －美化語、丁重語	講義、ディスカッション、質疑応答	敬語の種類をまとめる
23	「は」と「が」 主題と主語の違い	講義、ディスカッション、質疑応答	該当する教科書の章を読む
24	テンス・アスペクト・敬語・「は」と「が」の復習	小テスト及びテストの解説、次回の導入	第 19 回以降の復習
25	バリエーション 1 －社会言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	「バリエーション」の章全体を読む
26	バリエーション 2 －ら抜き言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「ら抜き言葉」について考察し記述する
27	バリエーション 3 －若者言葉	講義、ディスカッション、質疑応答	「若者言葉」について考察し記述する
28	記述問題の答え方 「ら抜き言葉」と「若者言葉」について	講義、ディスカッション、質疑応答	記述の練習
29	授業内記述試験と解説	講義、試験の解説と質疑応答	全体の復習
30	学期のまとめ	質疑応答	全体の復習

テキスト	庵功雄『新しい日本語入門—言葉のしくみを考える』（スリーエーネットワーク）
参考書	庵功雄他『やさしい日本語』（スリーエーネットワーク）

科目名	ENG360: 英語史					担当教員	山本 浩
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4212	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	英語の史的・理解、標準英語と多様な英語、英語と階級・文学・宗教・政治・メディア						
授業の概要	現代の国際語としての英語の考察から始め、同時に地球の様々な地域で発達する英語について視野を広げてゆく。その後、英語の歴史的変化の問題を扱ってゆく。中心的な問題は、古英語、キリスト教文献、ノルマン語の流入と中英語への変化、中英語の詩及び劇、印刷技術の発達、近代英語の発達とシェイクスピアの英語、近現代の英語、英語と階級、アメリカ英語を扱う。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b> 古英語、中英語、近代英語、現代英語の特徴を理解し、語彙、文法、発音等の身近な問題について歴史的観点から理解することを主な目的とする。英語史に必要な用語・概念を英語で理解し、英語による文献読解力を身につける。そして英語の発達を、英国史、世界史、英文学史と繋げる視点と知識を得る。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b> 英語という言葉内の個々の単語、文法、表現を、それらの背後にある歴史的な事象等と密接に結びつけ、言語を重層的に理解出来るようになる。英語史発展と関連が深い英国史、世界史、英文学史上の事象についても基本的知識を持つ。英語文献の正確な理解を、語彙、文法、文章構造の理解等と共に行えるようにする。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b> 授業参加 20% 授業内容の理解度を確認する小テスト 80%</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b> 古英語、中英語、近代英語のそれぞれの特徴と、英語の変遷に関する知識を得ているか、また、英国史、世界史、英文学史と英語の歴史との関係についての知識を得ているかが評価される。また、授業での質問に答えたか、積極的に質問や意見を述べたかが評価される。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	英語の現在	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
2	ケルト人、ローマ人、ゲルマン人	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
3	比較言語学とインド・ヨーロッパ語族	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
4	インド・ヨーロッパ語族の諸言語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
5	ゲルマン語と英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
6	ゲルマン人と古英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
7	古英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
8	古英語の文学	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
9	小テスト (45 分) と 1 回～8 回の授業の復習 (45 分)	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
11	ノルマン征服と中英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
12	中英語の特徴	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
13	中英語の文学（チョーサー）	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
14	中英語の文学と時代	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
15	大母音推移と印刷術の発達	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
16	小テスト（45分）と11回～15回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
17	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
18	ヨーロッパとイングランドのルネッサンス	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
19	チューダー朝と宗教改革	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
20	近代英語の始まりとシェイクスピア	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
21	聖書の英語訳	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
22	英語の規範化	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
23	小テスト（45分）と18回～22回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
24	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習
25	イギリスの階級	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
26	英語と階級、Queen's English, BBC English, RP	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
27	英語の方言	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
28	イギリス英語とアメリカ英語	講義と質疑応答	事前にパワーポイントのファイルを予習する
29	小テスト（45分）と25回～28回の授業の復習（45分）	小テストと小テストに基づく復習	小テストの準備学習をする
30	小テストのふりかえり	小テストに基づく復習	間違えた箇所、理解できていなかったところを復習

テキスト	特定の教科書は使用しない。事前に配布されるパワーポイント資料を事前にプリントして予習し、授業の時に持参する。
参考書	中尾俊夫『英語の歴史』講談社現代新書 0958（講談社） 寺澤盾『英語の歴史－過去から未来への物語』中公新書 1971（中央公論新社） メルヴィン・ブラッグ『英語の冒険』講談社学術文庫 1869（講談社） 中尾俊夫・寺島廸子『図説 英語史入門』（大修館書店） その他の参考書は、授業中に随時紹介する。

科目名	LNG320: バイリンガル教育				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	秋	開講時限	月木4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ						
授業の概要	授業では、バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法、日本と海外のマルチリンガル教育の現状について学ぶ。授業は教科書に従って、各章の要約を順番に口頭で発表したのち、講義とディスカッションを中心に進める。知識の定着を図るために、章ごとに10問から20問程度の小テストを行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解することを目的としている。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>学期が終わるころには、バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法が理解できるようになる。自分自身の英語学習や多言語環境にある人々の言語とアイデンティティなど、バイリンガリズムに関する問題についても専門的な知見を用いて分析し記述できるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>授業への積極参加 15%、発表 5%、小テスト・宿題 40%、授業内試験（記述式）40%</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>授業への積極参加：発言やディスカッションへの貢献を評価する。  発表：担当する章全体を予習して、担当部分のポイントを口頭で発表する。  小テスト・宿題：理論や専門用語など授業内容の基礎的な理解を評価する。  授業内試験（記述式）：バイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、教育方法を理解し、バイリンガリズムに関する現象や政策、問題等についても専門的な知見を用いて分析し記述できるか評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	第1章 バイリンガルとは 母語と第2言語の違いについて	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト第1章前半を読む、ノートにまとめる
2	第1章 バイリンガルとは バイリンガルのタイプ	講義、ディスカッション、質疑応答	第1章後半を読んでノートにまとめる
3	小テスト グローバル化と人の移動	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
4	第2章 子どもの母語の発達と年齢 保護者の役割	講義、発表、ディスカッション	第2章前半を読んでノートにまとめる
5	第2章 子どもの母語の発達と年齢 臨界期とは	講義、発表、ディスカッション	第2章後半を読んでノートにまとめる
6	第3章 バイリンガル教育の理論 2言語共有説	小テストと解説 講義、発表	小テストの準備
7	第3章 バイリンガル教育の理論 2言語相互依存の原則	講義、発表、ディスカッション	第3章前半を読んでノートにまとめる
8	第3章 バイリンガル教育の理論 社会心理的要因と言語の発達	講義、発表、ディスカッション	第3章後半を読んでノートにまとめる
9	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
10	第4章 家庭で育てるバイリンガル 言語の使い分け	講義、発表、ディスカッション	第4章前半を読んでノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	第4章 家庭で育てるバイリンガル 2言語の干渉	講義、発表、ディス カッション	第4章後半を読んでノート にまとめる
12	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：カナダのフレンチイメージョン	小テストと解説	小テストの準備
13	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：イメージョン方式の種類	講義、発表、ディス カッション	第5章前半を読んでノート にまとめる
14	第5章 イメージョン方式のバイリンガル 教育：イメージョン方式の成果と課題	講義、発表、ディス カッション	第5章後半を読んでノート にまとめる
15	第6章 アメリカのバイリンガル教育 バイリンガル教育の歴史	小テストと解説	第6章前半を読んでノート にまとめる
16	第6章 アメリカのバイリンガル教育 イメージョン方式の外国語教育	講義、発表、ディス カッション	第6章後半を読んでノート にまとめる
17	第7章 海外子女とバイリンガル教育 全日制日本人学校	小テストと解説	小テストの準備
18	第7章 海外子女とバイリンガル教育 現地校と補習校	講義、発表、ディス カッション	第7章前半を読んでノート にまとめる
19	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語としての日本語教育	小テストと解説	小テストの準備
20	第8章 日系人子女とバイリンガル教育 継承語プログラムの問題点	講義、発表、ディス カッション	第8章を読んでノートにま とめる
21	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
22	第9章 バイリンガルと文化の習得 文化の差と年齢	講義、発表、ディス カッション	第9章前半を読んでノート にまとめる
23	第9章 バイリンガルと文化の習得 2言語の習得とアイデンティティ	講義、発表、ディス カッション	第9章後半を読んでノート にまとめる
24	小テスト バイリンガル環境に育った人の語り	小テストと解説 ディスカッション	小テストの準備
25	第10章 バイリンガル教育への疑問 バイリンガル育成の課題	講義、発表、ディス カッション	第10章前半を読んでノー トにまとめる
26	第10章 バイリンガル教育への疑問 バイリンガル有利説	講義、発表、ディス カッション	第10章後半を読んでノー トにまとめる
27	第11章 バイリンガル教育の外国語教育へ の貢献：応用言語学理論の応用	講義、発表、ディス カッション	第11章前半を読んでノート にまとめる
28	第11章 バイリンガル教育の外国語教育へ の貢献：語学教育の方法への応用	講義、発表、ディス カッション	第11章後半を読んでノート にまとめる
29	期末テストと解説	質疑応答	期末テストの準備
30	まとめ	解説	学期の振り返り

テキスト	中島和子『バイリンガル教育の方法』（アルク）
------	------------------------

科目名	EDU310: 初等教育					担当教員	杉村 美佳
開講期	春	開講時限	火金3限	研究室	4220	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業						
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】 初等教育の基礎理論や課題を理解し、授業実践に必要な技術の基礎を習得する。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>①小学生期の子どもの発達や初等教育の歴史と現状、教師論や教育課程論等を学ぶことを通して、初等教育に関する基礎知識を身につける。</p> <p>②『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。</p> <p>③各自が学習者を主体とした「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をし合うことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】 授業時に課すリアクションペーパー (20%)、『教育の段階』のブックレポート (30%)、小学校見学のレポート (10%)、指導案の作成・発表 (40%)</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】 リアクションペーパー (20%)：論題について授業内容を踏まえて論理的に論述できているか。 『教育の段階』のブックレポート (30%)：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について考察できているか。 小学校見学のレポート (10%)：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 指導案の作成・発表 (40%)：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	本講義の目的と意義	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	小学生の時代的变化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
3	児童期の発達の諸側面と教育 (1) —認知的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
4	児童期の発達の諸側面と教育 (2) —社会的・人格的発達—	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
5	児童期における道徳性の発達と教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
6	児童期における問題行動の意味	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	問題行動について調べる 配布プリントの復習
7	『教育の段階』のレポート発表 (1)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1のレポート 『教育の段階』の復習
8	『教育の段階』のレポート発表 (2)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2のレポート 『教育の段階』の復習
9	『教育の段階』のレポート発表 (3)	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3のレポート 『教育の段階』の復習

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	『教育の段階』のレポート発表（4）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』4のレポート 『教育の段階』の復習
11	小学校教師とは	講義・ディスカッション リアクションペーパー	教師の問題について調べる 配布プリントの復習
12	初等教育の内容と教育課程	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
13	総合的な学習の時間の原理と方法	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
14	特別支援教育の現状と課題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
15	近代日本初等教育史（1）大正自由教育	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
16	近代日本初等教育史（2）戦後の教育改革	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
17	現代における授業改革	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
18	諸外国の初等教育（1）アメリカ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
19	諸外国の初等教育（2）ヨーロッパ	講義・DVD視聴 リアクションペーパー	配布資料を読む 配布プリントの復習
20	小学校見学の準備	グループワーク	配布資料を読む 配布物の作成
21	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学の振り返り
22	小学校見学のまとめ	グループワーク	見学のレポートを作成
23	指導案とは—指導案の作成方法—	講義、グループワーク	配布資料を読む 配布プリントの復習
24	指導案の作成（1）—単元・ねらいの設定—	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成（2）—教材・教具—	各自指導案の作成	指導案の作成
26	指導案の作成（3）—指導方法・評価—	各自指導案の作成	指導案の作成
27	模擬授業（1）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業（2）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
29	模擬授業（3）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
30	模擬授業（4）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配布する。
参考書	モーリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階—誕生から青年期まで』（岩波書店） 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』（新曜社）
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、授業実践に関する講義を行う。



科目名	PSY301: 発達心理学				担当教員	森崎 ひろみ	
開講期	秋	開講時限	月木3限	研究室	4号館2階講師控室	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	生涯発達心理学、発達、子ども、青年、大人、老人、臨床、研究						
授業の概要	テキストを参照しながら、心理学研究の成果に基づいて乳幼児から老人まで人間の生涯にわたる成長発達を辿ります。基礎をテキストの予習にて習得する他、授業内では重要なテーマを取り上げて理解を深めます。時間の経過とともに変化する人間の成長・発達の不思議に関心を持ち、人間理解に新しい視点を加えることができます。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b> 人間の一生を発達の観点から理解することを目標とします。時間の経過に伴う心と行動の変化、及びそれぞれの時期・段階に応じた心と行動の特徴を学びます。春学期に学んだ心理学の知識を発達的に広げ応用して考えます。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b> 発達心理学の基本的な用語や知識を習得すること、発達の思考を身につけること、テーマに沿って論理的に考えを展開できるようになること、発達心理学の臨床的な問題を身近な問題として考え、学んだ知識を応用できるようになることです。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b> 授業態度と授業毎のリアクションペーパー 50% 中間課題（1,000字程度のレポートを2回）30% 期末課題（2,000字程度のレポートを1回）20%</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b> リアクションペーパー：授業で学習したポイントを理解し、自分の視点から適切にまとめ展開できることを評価する。中間課題：設問について正しく理解して自分の言葉で論述展開できることを評価する。期末課題：心理学の基礎的な知識を理解した上で、一つのテーマを選び、自分なりに調べ論述展開できることを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	オリエンテーション：授業の進め方等 生涯発達心理学について	講義、質疑応答 リアクションペーパー	ノート準備
2	心の一生をどう捉えるか (1) 生涯発達の視点	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
3	心の一生をどう捉えるか (2) 生涯発達の理論	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
4	心の一生をどう捉えるか (3) 発達の影響要因	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.1-21 の予習
5	乳児期 (1) 乳児の発達の特徴：心身の成長	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.23-45 の予習
6	乳児期 (2) 乳児の発達課題：基本的信頼感	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.23-45 の予習
7	幼児期 (1) 幼児の発達の特徴：自我の発達	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-67 の予習
8	幼児期 (2) 幼児の発達課題：自律と自主	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.47-67 の予習
9	児童期 (1) 児童の発達の特徴：学びと社会化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.69-85 の予習
10	児童期 (2) 児童の発達課題：仲間と学校	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.69-85 の予習 中間 (第1回) レポート提出

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	レポートの発表 評価と課題	発表、質疑応答 リアクションペーパー	ワークシート配布
12	思春期（1） 思春期の発達の特徴：心身の変化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.87-111 の予習
13	思春期（2） 思春期の発達課題：子どもから大人へ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.87-111 の予習
14	青年期（1） 青年期の発達の特徴：自分との出会い	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
15	青年期（2） 青年期の発達課題：社会への模索	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
16	青年期（3） 青年期の臨床的問題：発達のつまずき	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.113-129 の予習
17	成人初期（1） 成人初期の発達の特徴：社会人として	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習
18	成人初期（2） 成人初期の発達課題：職業と家庭	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習
19	成人初期（3） 成人初期の臨床的問題：親になること	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.131-151 の予習 中間（第2回）レポート提出
20	レポートの発表 評価と課題	発表、質疑応答 リアクションペーパー	ワークシート配布
21	成人中期（1） 成人中期の発達の特徴：人生の最盛期	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
22	成人中期（2） 成人中期の発達課題：人生の問い直し	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
23	成人中期（3） 成人中期の臨床的問題：中年の危機	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
24	成人後期（1） 成人後期の発達の特徴：衰え	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
25	成人後期（2） 成人後期の発達課題：自我の統合	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
26	成人後期（3） 成人後期の臨床的問題：死への準備	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
27	人生を展望する（1） 各発達段階におけるつまずき	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習
28	人生を展望する（2） ライフサイクル	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.153-173 の予習 期末（第3回）レポート提出
29	レポートの発表 評価と課題	発表、質疑応答 リアクションペーパー	ワークシート配布
30	発達心理学のまとめ 質疑と補足	講義補足、質疑応答 リアクションペーパー	ワークシート配布

テキスト	岡本祐子 / 深瀬裕子編著『生涯発達心理学』（ミネルバ書房）
参考書	無藤隆・高橋恵子・田島信元編『発達心理学入門ⅠⅡ』（東京大学出版会）
履修条件、 前提科目	春学期に心理学の講義を受講していることが望ましい
その他 特記事項	テーマを設けてグループワークを取り入れることがあります。

科目名	LNG325: 第二言語習得					担当教員	T. Gould
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4209	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	Second Language Acquisition, Linguistics, Language Learning						
授業の概要	The overall objective of this course is for students to learn the foundations of Second Language Acquisition. Students will also learn to conduct basic research using both provided data and data they collect themselves. Students will learn to create transcripts from their data and, most importantly, they will learn to analyze their data. Conducting this analysis will enable students to learn to synthesize the contents of the lectures and textbook with real world language use. Projects in this course will help students to learn to understand and improve their own second language learning process.						
達成目標 および 到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>In this course, students will learn and use the vocabulary necessary to understand class lectures and discuss SLA topics with other class members. Students will learn to transcribe linguistic data, beginning with a Japanese-Japanese conversation. They will then learn to analyze their own second language production by transcribing and analyzing a sample of a conversation in English with other class members. Finally, for their final project, students will learn to put their knowledge to use by transcribing and analyzing data from an English speaker learning Japanese.</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>By the end of this course, students should be able to transcribe and analyze second language data from both English and Japanese. Students should also be able to discuss the basic processes of second language acquisition in terms that we have studied during the semester.</p>						
評価方法 および 評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>Small Project 15%, Mid-Term Project 25%, Final Project 30%, Assessment 30%.</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>Small Project: display understanding of SLA transcription methods as applied to Japanese conversation; Mid-Term Project: successfully complete full transcription of participant oriented video of English conversation, complete analysis of transcription including reference to text issues from video; Final Project: successfully complete transcription and analysis of video of acquisition of Japanese as second language; Assessment: for each of three tests, correctly answer test questions to display knowledge of covered content.</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	Introduction: Goals of SLA; Describing and explaining L1 acquisition, wug test, stages	Lecture; pair-work; group-work	Read HLAL: 5-13; select groups for project 1
2	Behaviorist vs Innatist perspective; critical period hypothesis, interactionist (Piag. / Vyg.)	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 15-24; practice En conversation
3	Childhood bilingualism, learner characteristics, learning conditions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 30-33; practice Eng. conversation
4	Studying the language of L2 learners, contrastive analysis, err. analysis, interlang.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 40-46; record 5 min. J. conversation
5	Vocabulary, pragmatics (directness, politeness, deference), conversational interact.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 60-68; prepare 1 min. sample transcript
6	Individual differences in SLA, learner characteristics, intelligence, aptitude	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 75-83; trans. rough draft and analysis points
7	Personality, attitudes and motivation, identity, learner beliefs	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 84-91; complete final transcript draft
8	Age and second language learning, critical period (in depth), intuitions of gramm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 96; Project 1 due in class
9	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	Mimicry and memorization, Krashen's 'Monitor Model,' begin cognitive perspective, information processing	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 104-108; meet w / group-practice conv.
11	Usage-based learning, competition model, language and the brain, interaction hypothesis	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 109-111; meet w / group-practice conv.
12	The noticing hypothesis, input processing, the role of practice	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 112-116; record 5 min E. conversation
13	The sociocultural perspective, learning by talking	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 117-121; distribute data to group
14	Observing learning and teaching in the second language classroom, natural and inst. settings	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 123-128; prepare 1 min sample transcript
15	Observation schemes, teacher-student interaction, characteristics of input / interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 129-133; continue on transcript
16	Corrective feedback in the classroom, recasts and private speech, feedback in context	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 139-143; show outline and analysis pts.
17	Questions in the classroom, scaffolding, display, and referential questions	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 145-149; mid-term project due in class
18	Second Language Learning in the classroom, proposals for teaching, grammar plus comm.	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 153-159; organize groups for final project
19	Comprehension-based instruction for children, reading for words, input flood, enhanced input	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 160-163; distribute data files
20	Review and Test	Short lecture; take test	Study for test
21	Processing instruction, interpreting research, 'Let's Talk' methodology	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 164-168; prepare sample 1 minute trans.
22	The dynamics of pair work, interaction and SL dev't, learner-learner interaction	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 169-171; prepare sample 1 minute trans.
23	French immersion programs in Canada, late immersion in HK, dual immersion	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 172-175; work on transcribing J. data
24	Teach what is teachable, developmental stage and first language acquisition	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 177-182; continue transcribing, identify analysis.
25	"Get it right in the end," form-focus experiments in intensive ESL	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 182-187; begin English gloss of trans.
26	Focusing on gender in French immersion, verb forms in content-based classrooms	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 187-189; complete English gloss
27	Focus on form in task-based instruction, assessing the proposals	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 190-198; finish transcription
28	Popular ideas about language learning revisited	Lecture; pair-work; group-work	HLAL: 202-212; rough outline of main analysis points
29	Review and Test	Short lecture; take test	Prepare final draft w / analysis
30	Conclusion: multiple perspectives in SLA	Lecture; pair-work; group-work	Transcription / analysis project (Japanese learner) due in class

テキスト	Patsy Lightbown and Nina Spada. <i>How Languages are Learned</i> (Oxford University Press).
参考書	Any basic Introduction to Second Language Acquisition book in Japanese

科目名	EDU300: 児童英語教育演習 A				担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	月1・2限	研究室	4203	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスラーニング活動、実践						
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスラーニング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案・教材作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>①出席時の授業参加姿勢においては、リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きで協調的な取り組み、ことにグループワーク等への参加、グループへの協力、活動に主体的に関わる姿勢を評価する。②教案・教材作成では、学習者である児童の特性を考慮したコミュニケーション型な授業案となったかを評価する。③模擬授業では、適切な teacher talk の使用、アクティビティの運用のスムーズさ、準備と練習をしたかどうかを評価する。④期末課題は学内 SNS「みんなの広場」での省察の蓄積が活かされた内容で、具体的な改良改善提案があることが評価の基準となる。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト2を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
9	学年（年齢）・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	モデル指導案①の実践練習 (1) Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
12	モデル指導案①の実践練習 (2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
14	モデル指導案②の実践練習 (1) Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
15	モデル指導案②の実践練習 (2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNS での省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNS での省察
22	模擬授業発表 (1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
23	模擬授業発表 (2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
24	模擬授業発表 (3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
25	模擬授業発表 (4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
26	模擬授業発表 (5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
27	模擬授業発表 (6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
28	模擬授業発表 (7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
29	模擬授業発表 (8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評、 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』（東京書籍） 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』（東洋館出版）
参考書	上智大学 CLT プロジェクト編『コミュニケーション型英語教育を考える』（アルク）
履修条件、 前提科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業を履修する学生は、木曜1・2限のサービ斯拉ーニング枠には他の授業を入れないこと。サービ斯拉ーニング枠を活用した小学校でのイングリッシュ・フレンド活動に参加し、この授業で作成した指導案を用いることにより指導の実践も体験できる。</li> <li>この授業の履修には、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」、「第二言語習得」のいずれかを修了している必要がある。</li> </ul>
その他 特記事項	「児童英語教育演習 B」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。

科目名	EDU301: 児童英語教育演習 B				担当教員	狩野 晶子
開講期	秋	開講時限	月1・2限	研究室	4203	オフィスアワー P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先
キーワード	児童英語教育、言語習得、模擬授業、サービスラーニング活動、実践					
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。児童英語教育に関する背景知識や第二言語習得理論の知識をもとに、小学校の現場での使用を想定した指導案を作成し、模擬授業を行う。あわせてサービスラーニング枠で行うイングリッシュ・フレンド活動に参加し授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。					
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつける。サービスラーニング活動での実践の機会を活用して、小学校での英語活動の目的と意義に沿った指導案を作成し、グループによる指導実践ができるようになる。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>児童英語教育の基礎知識を活かし、グループでの小学校での英語活動指導を行うことができる。グループでの指導案作成、教材作成、模擬授業の準備の過程と、相互評価と講評による振り返りを通して、基礎的な教案作成力、授業での指導力が身につく。児童の認知発達や特性を考慮した指導案の作成と指導案に沿った適切な教材、教具の作成ができる。自らの指導を検証、評価し改善する経験を積む。</p>					
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>①出席時の授業参加姿勢（40%）、②教案・教材作成（20%）、③模擬授業（20%）、④期末課題（20%）の比率に基づいて総合的に評価する。</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>①出席時の授業参加姿勢においては、リアクションペーパー、授業内のすべての活動に対する前向きで協調的な取り組み、ことにグループワーク等への参加、グループへの協力、活動に主体的に関わる姿勢を評価する。②教案・教材作成では、学習者である児童の特性を考慮したコミュニケーション型な授業案となったかを評価する。③模擬授業では、適切な teacher talk の使用、アクティビティの運用のスムーズさ、準備と練習をしたかどうかを評価する。④期末課題は学内 SNS「みんなの広場」での省察の蓄積が活かされた内容で、具体的な改良改善提案があることが評価の基準となる。</p>					

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	児童英語教育とは これまでの学習内容と前提知識の確認	講義 グループワーク	既習科目の内容復習
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論	講義、学生発表 グループワーク	テキスト2を読み、リアクションペーパー作成
3	児童英語教育の背景となる発達理論	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
4	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
5	コミュニケーション能力の育成 Communicative Language teaching の観点から	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
6	これまでの英語教育とこれからの英語教育	講義、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察
7	学習指導要領と小学校教育における外国語活動の位置づけ	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成準備
8	小学校における英語活動の特徴	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
9	学年（年齢）・学習経験・子ども特有の要因	講義、学生発表 グループワーク	テキスト1①②の概要レポート作成
10	モデル指導案①の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNSでの省察

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	モデル指導案①の実践練習 (1) Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
12	モデル指導案①の実践練習 (2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
13	モデル指導案②の研究	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備 SNS での省察
14	モデル指導案②の実践練習 (1) Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
15	モデル指導案②の実践練習 (2) 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 SNS での省察
16	指導案作成に向けて：言語材料の選び方	指導実践、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
17	指導案作成に向けて：言語材料のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
18	指導案作成に向けて：言語活動のポイント	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
19	指導案作成に向けて：言語活動のバリエーション	講義、学生発表 グループワーク	各自テーマを調べる 指導案作成準備
20	グループでの指導案作成	グループワーク	発表準備 SNS での省察
21	グループでの教材・教具作成	グループワーク	発表準備 SNS での省察
22	模擬授業発表 (1)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
23	模擬授業発表 (2)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
24	模擬授業発表 (3)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
25	模擬授業発表 (4)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
26	模擬授業発表 (5)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
27	模擬授業発表 (6)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
28	模擬授業発表 (7)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
29	模擬授業発表 (8)・相互評価と講評	学生発表、相互評価、講評	発表準備と実践練習 SNS での省察
30	振り返りとまとめ	講義、講評、 グループワーク	期末課題準備・作成

テキスト	1. 文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』（東京書籍） 2. 文部科学省『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』（東洋館出版）
参考書	上智大学 CLT プロジェクト編『コミュニケーション型英語教育を考える』（アルク）
履修条件、 前提科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業を履修する学生は、木曜 1・2 限のサービ斯拉ーニング枠には他の授業を入れられないこと。サービ斯拉ーニング枠を活用した小学校でのイングリッシュ・フレンド活動に参加し、この授業で作成した指導案を用いることにより指導の実践も体験できる。</li> <li>この授業の履修には、「児童英語教育概説」「児童英語指導者養成講座」、「第二言語習得」のいずれかを修了している必要がある。</li> </ul>
その他 特記事項	「児童英語教育演習 A」と両方の履修が可能である。A と B の履修順序は問わない。



科目名	EDU206: 児童英語指導者養成講座				担当教員	杉村 美佳	
開講期	秋	開講時限	火金4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	連絡先	
キーワード	児童英語教育、小学校英語活動、言語習得、英語教授法、レッスンプラン						
授業の概要	小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）認定による「小学校英語指導者資格」の取得を目指し、児童英語指導者として求められる基礎的な知識と模擬実践経験を得る。子どもの言語習得理論、児童心理学、認知発達理論など、指導者として必要な理論の基礎を学び、児童英語指導者に求められる英語力を身につけるためのトレーニングを行う。実践を想定した模擬授業を通して授業スキルやレッスンプランの書き方を体得する。						
達成目標および到達目標	<p>【達成目標 <i>Course goals</i>】</p> <p>児童英語教師として小学校での英語指導や指導補助を行うことを目指し、児童英語に関する基礎知識、教授技術の基本を理解し、英語のみでの指導が行える指導技術と英語力を習得することを目標とする。</p> <p>【到達目標 <i>Learning objectives</i>】</p> <p>①児童英語指導者に必要な英語力の体得に加え、言語習得理論や児童心理、認知発達理論等、児童英語教育の理論の基礎を習得する。②レッスンプランを作成し、アクティビティを実践することを通して、効果的に児童への指導が行えるようになる。③小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の認定による「小学校英語指導者準認定資格」を目指す。</p>						
評価方法および評価基準	<p>【評価方法 <i>Categories</i>】</p> <p>小課題・ノート提出（30%）、英文法小テスト（30%）、アクティビティ発表・レッスンプラン作成（40%）</p> <p>【評価基準 <i>Criteria</i>】</p> <p>小課題・ノート提出：通信講座の振り返りチェックを行っているか。  英文法小テスト：通信講座『英語力トレーニング』確認テストのスコア  アクティビティ発表：レッスンプランに即して講義で学んだ教授技術を実践に生かすことができたか。  レッスンプラン作成：作成手順に即し子どもの発達に合ったプランになっているか。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	児童英語教師とは	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week1,2の予習、振り返りチェック
2	子どもと英語—児童英語教育の意義・目的	講義、グループワーク、DVD視聴	『基礎知識1』Week3の予習振り返りチェック
3	児童心理学（1）—幼児期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習
4	児童心理学（2）—児童期の心理—	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week4の予習振り返りチェック
5	言語習得論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week5の予習振り返りチェック
6	認知発達理論	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week6の予習振り返りチェック
7	バイリンガル教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week7の予習振り返りチェック
8	国際理解教育	講義、グループワーク	『基礎知識1』Week8の予習振り返りチェック
9	小学校英語活動の位置づけ（1）—小学校における「外国語活動」の目標と内容—	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習
10	小学校英語活動の位置づけ（2）—小学校における「外国語活動」の留意点—	講義、グループワーク	『基礎知識2』Week1の予習振り返りチェック

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
11	小学校英語活動の意義と課題	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week2 の予習 振り返りチェック
12	小・中・高の連携	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week3 の予習 振り返りチェック
13	求められる英語活動指導者とは	講義、グループワーク	『基礎知識 2』 Week4 の予習 振り返りチェック
14	代表的な英語教授法・指導法（1）—教授法と指導法の基礎知識—	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week5 の予習
15	代表的な英語教授法・指導法（2）—代表的な指導法—	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week5 の予習 振り返りチェック
16	クラスルーム・イングリッシュ	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week13～15 の予習
17	語彙力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week16～18 の予習
18	パラフレーズ力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week19～21 の予習
19	状況設定力のトレーニング	講義、グループワーク	『英語力トレーニング 2』 Week22～24 の予習
20	カリキュラムとレッスンプラン	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week6 の予習
21	教材・教具	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week7 の予習 振り返りチェック
22	レッスンを構成するアクティビティ（1）—レッスんに適したアクティビティ—	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week8 の予習
23	レッスンを構成するアクティビティ（2）—代表的なアクティビティ例—	講義、グループワーク	『基礎知識 3』 Week8 の予習 振り返りチェック
24	レッスンプランの考え方	講義、グループワーク	『レッスンプラン作成ガイド』 Week9 の予習
25	レッスンプランの書き方	レッスンプランの作成	『レッスンプラン作成ガイド』 Week10 の予習
26	レッスンプランの作成（1）	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
27	レッスンプランの作成（2）	レッスンプランの作成	レッスンプランの作成
28	アクティビティ発表（1）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
29	アクティビティ発表（2）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習
30	アクティビティ発表（3）	学生発表、相互評価、講評	発表の準備と練習

テキスト	「アルク児童英語教師養成コース」（アルク）で使用するテキスト（基礎理論編、レッスンプラン編）およびその他のプリント配布物。
参考書	文部科学省『Hi! Friends ①』、『Hi! Friends ②』（東京書籍）
履修条件、前提科目	アルクの通信講座「アルク児童英語教師養成コース」をベースとする授業のため、同講座を受講することが必須となる（別途費用がかかる）。
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業の終了時には少なくとも TOEIC500 点以上となるよう努力すること。</li> <li>この授業を取る者は積極的にサービスマーケティング活動に参加すること。</li> </ul>

科目名	JPN300: 日本語教育演習				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	月1・2限	研究室	4217	オフィスアワー	P.28 参照のこと
分類	選択	単位	4	標準受講年次	2年	連絡先	
キーワード	年少者日本語教育、バイリンガル、JSLカリキュラム、アセスメント						
授業の概要	この授業では、秋学期に日本語教育概論で学んだ外国語としての日本語の教え方を発展させる。学期前半はバイリンガルの言語発達に関する理論を学び、後半は日本国内で日本の学校に通う児童生徒への日本語指導の方法を中心に学ぶ。日本語指導をどのように他の教科学習に取り入れるか、在籍クラスでの教科学習にどのような指導が必要かをJSLカリキュラムの概念にしたがって学習する。						
達成目標および到達目標	<p><b>【達成目標 Course goals】</b>          本科目は、バイリンガルの言語発達に関して学ぶことで、成人と年少者の第二言語の習得の違いを理解できるようになり、成人と年少者にあった日本語の教え方を工夫できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標 Learning objectives】</b>          学期末には、日本語指導が必要な児童の認知的な発達レベルを考慮した教科（国語、算数、理科、社会）の授業計画と実践ができるようになる。学習者の日本語のレベルに合わせた言葉の使用や視覚教材の作成、授業中のスキヤフオールディングができるようになる。</p>						
評価方法および評価基準	<p><b>【評価方法 Categories】</b>          授業への積極参加 10%、小テスト 30%、模擬授業 30%、期末課題（教案作成） 30%、詳細は授業の初めに説明する。</p> <p><b>【評価基準 Criteria】</b>          授業への積極参加：授業での発言やグループワークへの貢献を評価する。          小テスト：既に学習した授業の内容の理解確認。          模擬授業：授業計画、教案作成、実践のスムーズさ、スキヤフオールディングの質を総合的に評価する。          期末レポート：教科学習の内容をよく理解し授業計画がたてられているか、実践可能な教案を作成できるか、使用する言語は学習者のレベルに相応しいものかを評価する。</p>						

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
1	年少者日本語教育とは	講義、ディスカッション、質疑応答	秋学期のカレッジフレンドについてまとめる
2	カレッジフレンドの振り返り	グループワーク、発表	振り返り内容を記述する
3	年少者日本語教育に関する問題点と課題を絞り、小論文を書く	グループワーク、発表	問題点と課題のまとめ
4	バイリンガルの子どもの言語発達	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読み小論文のテーマに該当する箇所を探す
5	バイリンガルの子どもの母語	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
6	小テストと解説 生活言語と学習言語の違い	小テスト、解説、講義	テキストを読み小論文のテーマに該当する箇所を探す
7	学習言語を育てるには	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
8	小テストと解説 バイリンガルの母語とアイデンティティ	小テスト、解説、講義	テキストを読み小論文のテーマに該当する箇所を探す
9	日本で育つ言語マイノリティの子どもの母語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読み小論文のテーマに該当する箇所を探す

授業計画			
回	テーマおよび学修内容	運営方法、教育手法	準備学修・復習
10	日本で育つ言語マイノリティと教育	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読み小論文のテーマに該当する箇所を探す
11	継承語教育	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
12	小テストと解説、多文化国家における言語マイノリティと教育－オーストラリアの場合	小テスト、解説、講義	ハンドアウトを読む
13	多文化国家における言語マイノリティと教育－北米の場合	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
14	言語マイノリティの子どもの教え方－取り出し授業	講義、ディスカッション、質疑応答	小テスト準備
15	小テストと解説、言語マイノリティの子どもの教え方－スキャフォールディング	小テスト、解説、講義	ハンドアウトを読む
16	言語マイノリティの子どものアセスメント	講義、ディスカッション、質疑応答	発表準備
17	プロジェクト発表	発表	発表準備
18	プロジェクト発表	発表	発表準備
19	JSL カリキュラム－開発の背景	講義、質疑応答	ハンドアウトを読む
20	JSL カリキュラム－国語	グループワーク	ハンドアウトを読む
21	JSL カリキュラム－算数	グループワーク	ハンドアウトを読む
22	JSL カリキュラム－社会	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
23	JSL カリキュラム－理科	講義、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読む
24	レッスンプラン作成	グループワーク	模擬授業準備
25	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
26	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
27	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
28	模擬授業	模擬授業分析	模擬授業準備
29	まとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	復習
30	学期のまとめ	期末課題の説明	復習

テキスト	河原俊昭・山本忠行・野山広『日本語の話せないお友達を迎えて』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	日本語教育概論を履修済みであることを条件とする。
その他特記事項	5月以降カレッジフレンドへの参加を原則とするため、サービ斯拉ーニング枠に他の授業を履修することはできない。